

新総合計画

【まちづくりの理念】

挑戦を続ける、新たな杜の都へ

～ “The Greenest City” SENDAI ～

- ▶ 社会を取り巻く環境が大きく変化するなか、これからも仙台が輝き続けるためには、仙台ならではの強みを活かして挑戦を重ね、新たな価値を生み出していくなややかさとダイナミズムが必要
- ▶ 連続と受け継がれてきた「杜の都」のまちづくりを基盤として、私たちが誇りに思い、世界からも選ばれるまちを目指す
- ▶ 持続可能な未来へ、「杜の都」に Green という私たちにとっての大切にしてきた様々な意味を含めた言葉を重ね、世界を見据えて常に高みを目指し、仙台らしさが輝く「新たな杜の都」をつくっていく

【目指す都市の姿】

都市個性	都市の姿
環境 自然と都市機能が調和した都市環境	Nature 自然 杜の恵みと共に暮らすまちへ
共生 市民の力で築き上げてきた共生社会	Comfort 心地よさ 多様性が社会を動かす共生のまちへ
学び 一人ひとりの成長につながる学びの風土	Growth 成長 学びと実践の機会があふれるまちへ
活力 東北における交流と経済の広域拠点	Green Light 進め！ 創造性と可能性が開くまちへ

都市づくりの目標像（案）

「選ばれる都市へ挑戦し続ける“新たな杜の都”」
～自然環境と都市機能が調和し、多様な活動を支え・生み出す都市づくり～

「杜の都」の豊かな自然と、市民の暮らしを支える都市機能が調和した都市づくりを目指すとともに、一人ひとりの挑戦によって新たな価値と活力を生み出し、働く場所や学ぶ・楽しむ場所、暮らす場所として選ばれる魅力あふれる“新たな杜の都”をつくっていきます

《働 く》 × 《学ぶ・楽しむ》 × 《暮らす》 ⇒ “新たな杜の都”

※ 目標とする“新たな杜の都”のイメージを市民や事業者の皆さまと共有するために、人々の活動の主要素である「働く」、「学ぶ・楽しむ」、「暮らす」に着目し、都心や鉄道沿線など都市における各活動の将来イメージを示していきます

目指す都市構造（案） ※イメージ及び土地利用方針図は別紙1、2 参照

都心や拠点、鉄道駅を中心に、それぞれの地域特性に応じた多様な都市機能の適切な配置と市街地拡大の抑制がなされ、郊外居住区域には暮らしを支える都市機能が維持されていることに併せて、豊かな自然環境との調和や防災に配慮された、魅力的で暮らしやすく、安全・安心な空間が形成されている、“機能集約型市街地形成と地域の維持”を目指す

都市づくりの基本方針（案）

①魅力・活力のある都心の再構築

▶国際競争力を有し、東北と世界を結びつける都市として成長するため、居心地のよい憩いや交流の場の創出、各エリアの特色強化による都心部の回遊性の向上、近未来技術の活用、イノベーションやトライアルの機会の創出等を通して、躍動する都心としての魅力・活力の向上に資する再構築を図る

②地域の特性を活かした集約型の市街地形成と郊外居住区域の維持

▶持続可能で防災・減災にも資する、機能的・効率的な市街地を形成するため、引き続き、地域特性に応じた多様な都市機能の適正な配置を図る
▶郊外居住区域では、子育て世代等の暮らしのニーズや周辺環境との調和に配慮しながら、都市機能の維持や地域の活性化等を図る

③質の高い公共交通を中心とした交通体系の充実

▶市民の生活を支える移動手段を確保するため、既存ストックを最大限に活用するとともに、地域の実情に応じた移動手段の確保により、質の高い公共交通を中心とした交通体系の充実を図る

④杜の都の継承と安全・安心な都市環境の充実

▶魅力ある杜の都を後世においても継承し、自然環境を活かした美しく快適な都市空間の形成を図る
▶生涯を通じて健やかに安全・安心に暮らせるまちとして、市街地の浸水対策等、災害に強い都市環境の充実を図る

⑤魅力を生み出す協働まちづくりの推進

▶多様な価値観を尊重し合い、地域課題を解決して新たな魅力を生み出すため、市民・事業者・行政等の多様な主体による協働まちづくりの一層の推進を図る

部門別の方針（案）

1. 土地利用

- (1)商業・業務
- (2)居住
- (3)工業・流通・研究
- (4)文化・芸術・スポーツ
- (5)交流・観光
- (6)福祉・子育て
- (7)自然環境

■商業・業務、居住、工業・流通・研究などの都市機能の適切な立地を誘導するとともに、都心や拠点、鉄道沿線などの地域の特性に応じた都市機能と自然環境が調和した土地利用を誘導する

2. 交通

- (1)公共交通を中心とした交通体系
- (2)都心交通環境の再構築
- (3)広域的な交通ネットワーク

■多様な活動を支え、生み出すため、質の高い公共交通を中心とした交通体系の充実に取り組みるとともに、都市の活力や交流を生み出す都心交通環境の再構築や、広域的な交通ネットワークの形成を推進

3. 緑・景観

- (1)みどり豊かな空間
- (2)公園・緑地・水辺
- (3)良好な都市景観

■魅力ある杜の都を後世においても継承するため、都市緑化の推進やみどりの回廊づくり等のみどり豊かな空間づくりを進めるとともに、公園・緑地・水辺の整備や良好な都市景観の形成を図る

4. 防災・環境

- (1)災害に強い都市基盤
- (2)都市環境の保全
- (3)脱炭素型の都市づくり

■安全・安心な都市環境の充実を図るため、災害に強い都市基盤を構築するとともに、良好な都市環境の保全や脱炭素社会の実現を見据えた温室効果ガス削減の取り組みなどを推進する

5. 協働まちづくり

- (1)多様な主体によるまちづくりの推進

■本市の個性を生かし、多様性のある魅力ある都市づくりを進めるため、地域主体の持続的なまちづくり活動が育つ環境づくりを行うとともに、柔軟な発想や活力を持つ企業や大学等の多様な主体が関わるまちづくりを推進する

本市の魅力や強み

本市を取り巻く動向

都市計画に関する国の動向

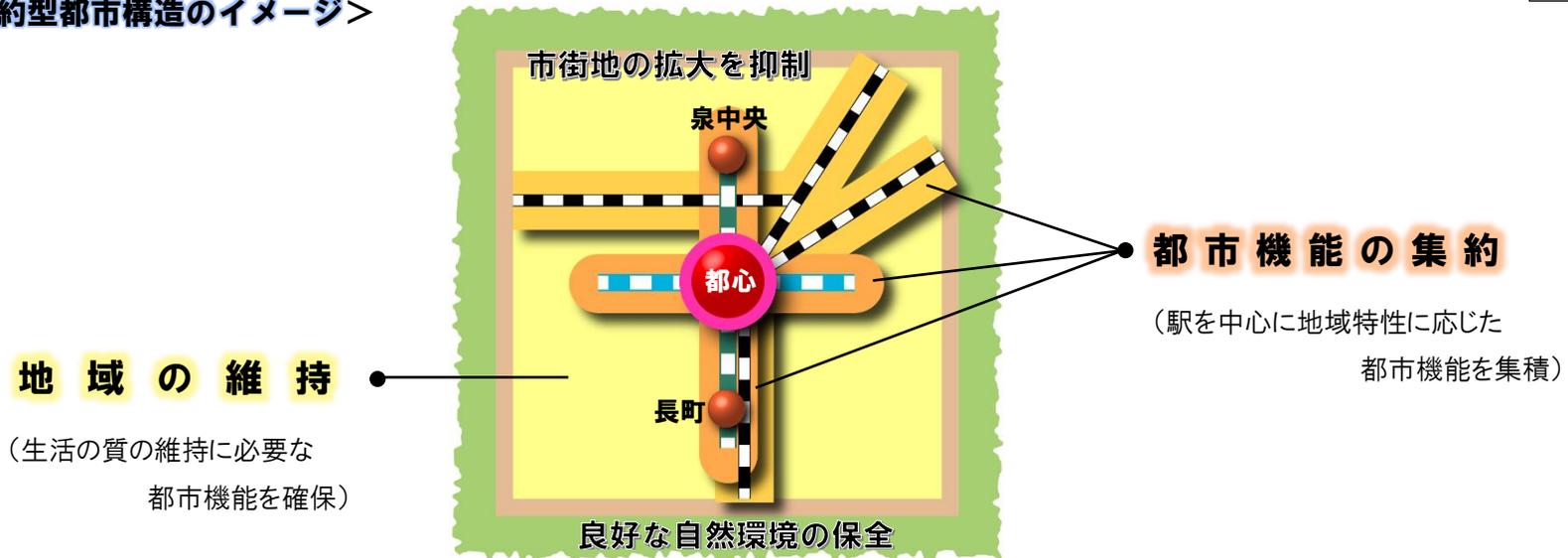
市民参画の成果

都市づくりの視点（案）

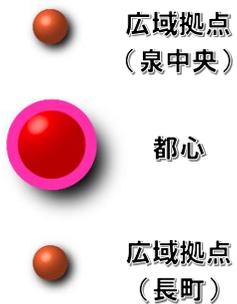
- ① 『躍動する都市』
- ② 『暮らしやすい都市』
- ③ 『美しい都市』
- ④ 『強靱な都市』
- ⑤ 『選ばれる都市』

※⑤は上記4つの視点の総合的な取り組みにより目指す視点

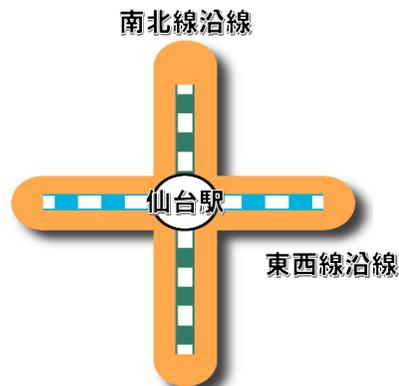
＜機能集約型都市構造のイメージ＞



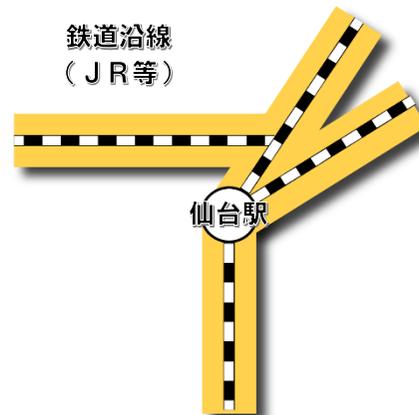
＜都心・広域拠点＞



＜都市軸＞



＜鉄道沿線＞



＜郊外居住区域
 集落・里山・田園ゾーン＞



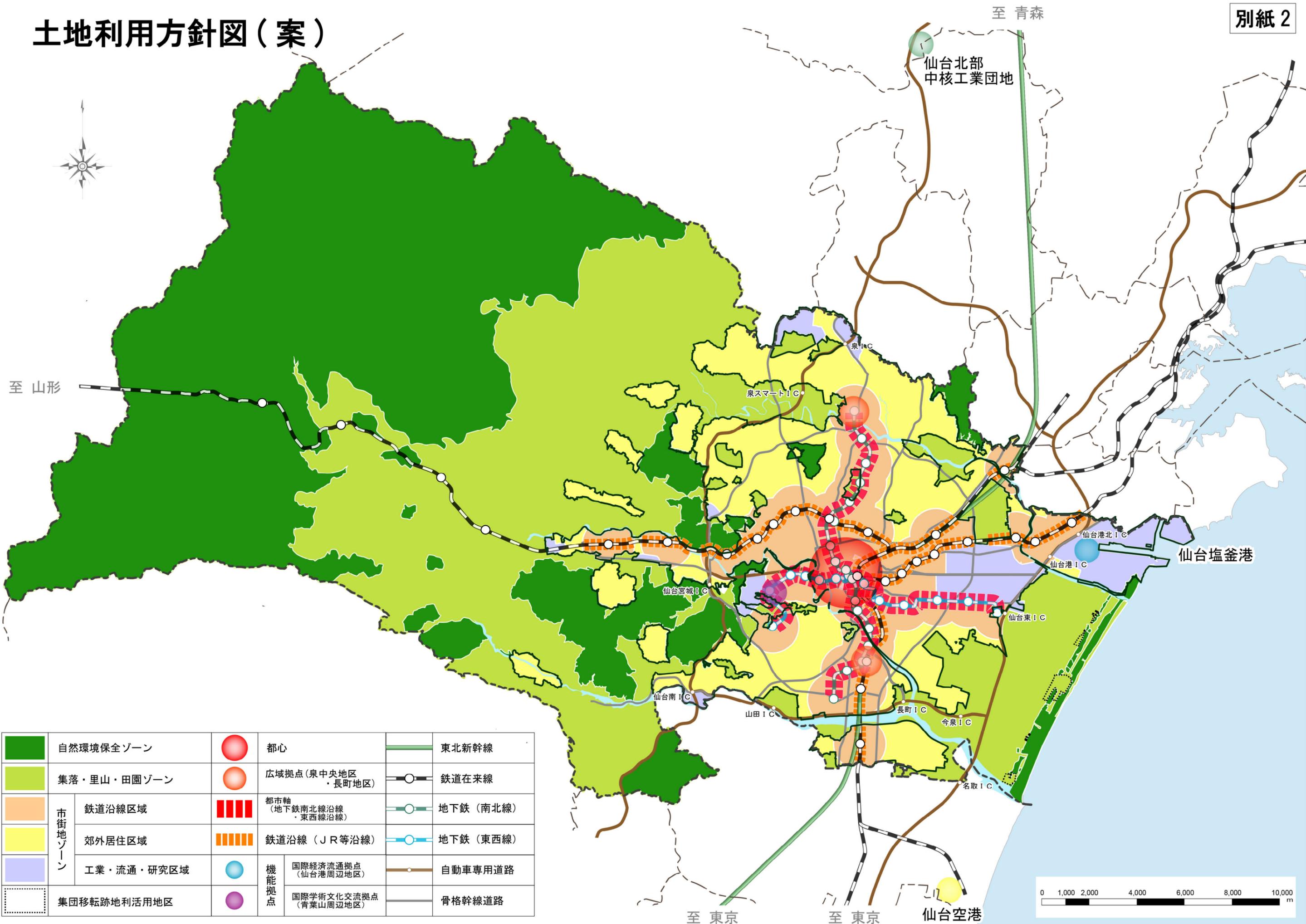
- 都心：魅力や活力があふれる都心へ高度な都市機能を集積
- 広域拠点：都心との機能分担・連携を図りながら、生活拠点として魅力的で個性ある都市機能を集積

- 交通利便性が高く、地下鉄駅を中心に都市機能の集約を図ってきた地下鉄南北線及び東西線の沿線から成る十文字型の「都市軸」では、地下鉄駅を中心とした土地の高度利用や都市機能の集積を図る

- 交通利便性が高く、地域におけるまちづくりの中心となりうる鉄道駅があるJR等の鉄道沿線では、鉄道駅を中心に居住機能や暮らしに必要な都市機能の立地を誘導

- 左記以外の郊外居住区域では、地域の実情などに応じて生活の質を維持するために必要な都市機能を確保
- 集落・里山・田園ゾーンでは、市街地の拡大を抑制するとともに、良好な自然環境を保全

土地利用方針図(案)



	自然環境保全ゾーン		都心		東北新幹線
	集落・里山・田園ゾーン		広域拠点(泉中央地区・長町地区)		鉄道在来線
	市街地ゾーン		都市軸 (地下鉄南北線沿線・東西線沿線)		地下鉄(南北線)
	鉄道沿線区域				鉄道沿線(JR等沿線)
	郊外居住区域		機能拠点		自動車専用道路
	工業・流通・研究区域		国際経済流通拠点 (仙台港周辺地区)		骨格幹線道路
	国際学術文化交流拠点 (青葉山周辺地区)				
	集团移転跡地利活用地区				

